

檜の木だより

2023年7/1
第111号

ひとりひとりひかる

きぼろ

発行：檜の木福祉会（法人本部）
 かしの木の会
 一宮市富田字砂原 2147
 Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200
 檜の木福祉会 ホームページ
<http://www.kasinoki.jp/>



5/20 運動会の様子



【目次】

- 1P 表紙、目次
- 2P 法人コーナー① 職員紹介（主任）
- 3P 法人コーナー② 職員紹介（新人）
- 4P 法人コーナー③ 新人研修
- 5P 法人コーナー④ 運動会
- 6P かしの木の会コーナー、お知らせ



法人コーナー①

各事業所主任の皆さん

今回は、事業所を支える主任さんをご紹介します。笑顔が眩しいですね



かしの木の里
岡本 裕子さん



かしの木の里
仙石 靖徳さん



かしの木居宅介護事業所きーぷ
渡邊 陽介さん



らちえっと
岩下 孝広さん



榎の木園
清原 由美さん



GHC かしの木
藤谷 輔さん



GHC かしの木
田代 容子さん



GHC かしの木
富田 康介さん



榎の木作業所
春日井 将史さん



ステップ
森 善輝さん



かしの木サポートプラザ
川口 孝行さん





ゆんたく
角田 高恵さん



ゆんたく
佐藤 直美さん



すろーぷ
秋江 和美さん

法人コーナー②

令和5年度新規採用者の皆さん

質問

①マイブーム、趣味

②どんな職員になりたいか、目指すか。



法人本部
菱川 裕太さん

- ①キャンプ、釣り、山登り
- ：
- ②皆様を手助けできるようになりたいです。



かしの木の里
奥村 聖子さん

- ①バイク、寝ること
- ②空気のように必要なことを与えられるようにしたい。



かしの木の里
原 杏奈さん

- ①本を読むこと
- ②利用者を笑顔にできる職員になりたいです。



そら豆キッズ
西村 広美さん

- ①犬との戯れ
- ②その子と同じ世界観で支援したいです。



すろーぷ
兼松 里沙さん

- ①ソフトボール
- ②広い視野、いろんな視点をもった支援者になりたい。



すろーぷ
安藤 真紀さん

- ①紅茶を飲むこと
- ②事業所をまたぐ活動ができるといいなあ。

今年はこの6人が新しく仲間になりました。温かく見守ってください。



法人コーナー③

令和5年度 新規採用者研修

令和5年4月25日(火)、26日(水)にグリーンプラザにおいて令和5年度の新規採用者研修を行いました。

例年であれば、6月末ごろに開催をしていましたが、今年度は入職後できるだけ早く必要な知識を身に付けてもらうため4月末での開催をしました。今まで3日間で夕方には各自の事業所に戻り業務に入る方法をとっていましたが、今年度は、開催日を2日間で9:00~17:00までの間に集中して研修に取り組めるように所属する事業所や管理者の協力を得て開催することができて良かったです。

初日は、「障害福祉とは・・・」という基本的な知識や考え方、福祉の歴史の流れなどを講義してもらいながら実践的な講義が続きました。参加したどの職員も真剣に受講している姿は頼もしく感じました。

2日目は、働く上での心構えや、キャラバン隊「にじいろ」の講義など実際に体感する研修も取り入れました。福祉の仕事をしている先輩や親御さんたちの気持ちを聞くことで「また明日からも頑張ろう」と感じてもらえたのではないかと思います。

2日目の後半は毎年グループワークを行っています。事例を通じてグループワークをすることで人の話を聞くこと、他者と意見交流しながら合意形成することを学ぶ機会になります。同期で話し合う時間はとても貴重な時間になったのではないかと思います。

毎年行っている新規採用者研修では、法人内の職員が講師になります。講師になっている職員の中には数年前に同様に新規採用者研修を受けた人もいます。この研修では、最初は自分が受講する側、数年た

ち現場でいろいろな人たちと関わり、学ぶことでいずれ講師ができるように成長して欲しいという研修委員の思いも含まれています。2日間の研修を終えて疲れも見られていましたが、どの職員もとても清々しい顔をしていただいているように思います。いずれ講師になる日が来るまでずっと現場の事業所で皆さんの支援を頑張ってくれることと思います。



研修委員は、年間を通じて法人内の職員向けに研修の立案、実施、振り返りを行っています。今回研修を受けられた職員は、半年後に新規採用者フォローアップ研修を受講することになります。法人内での「人財育成」に対しても研修委員会の中で役割を持ち必要な研修が必要な職員に届けられるようにしていきたいと思います。

研修委員会 ゆんたく 川口千鶴子

法人コーナー④

運動会の実施報告

～5月20日（土）らでうす～

今年の運動会は去年に引き続き、里・らちえつと・らでうす合同での「さらら運動会」を計画していました。

しかしながら、前日の雨によるグラウンドコンディションが悪く、各事業所とも室内での開催となりました。

当日、登所後に利用者さんへ室内での開催を伝えると、外を指差して「運動会やる」と困惑している様子が見られました。

らでうすでは予定をしていた「パン食い競走」と「玉入れ」を実施しました。困惑していた利用者さんも、いざ競技が始まると気持ちの切り替えができ、「メロンパン食べる」「玉入れやる」と積極的に競技に参加することができました。

パン食い競走は「パンを口で啜って取って下さい！」と伝えると、ジャンプしてパンを啜えようと頑張る方、なかなか取れず諦めて手で取る方、最初から早く欲しいパンを手で取ってゴールされる方、様々な手段で楽しむ姿が見られました。



パン食い競争の様子

玉入れは各 30 球ずつを用意して制限時間 1 分で行いました。男女対抗、作業室対抗、職員対利用者さんなど様々な組み合わせで楽しみました。

連続で 7 球を入れることができた方や制限時間内に全ての玉を入れるチームなど盛り上がることができました。



のびのび玉入れ

皆さんがひとりひとり個性をだし、一生懸命に取り組むことができました。

職員より、「頑張りましたで賞」を皆さんに授与させていただくと、「写真撮って」と嬉しそうな表情で賞状を見せてくれる方が見られました。



がんばったよ！！

今年は晴天にも関わらず、室内開催を当日に伝える状況となりましたが、皆さんが楽しめる姿を見ることができました。

来年も利用者さんに楽しんでいただけるようにしていきます。

らでうす 南 祥也

かしの木の会コーナー①

[尾張のつどい]学習会

「先がみえにくい情勢をどのように見るのか」

講師 [尾張のつどい]顧問 峰島 厚氏

開催日時：5月17日(水)10時～12時
会 場：北名古屋市総合福祉センター「もえの丘」

この日は、[尾張のつどい]で活動する5団体の関係者の皆さん16名参加で学習会が行われました。

講師の峰島先生は、立命館大学産業社会学部特別任用教授をされていましたが、退任されて研究運動の傍ら全障研に関わり、現在は日本障害者センター理事長、社会福祉経営全国会議理事などをなさっています。

今回は岸田内閣が打ち出している、防衛力強化のための「5年間で43兆円」もの防衛費増大と異次元の少子化対策の二つの大きな政策を社会福祉の視点からお話ししてくださいました。

その中で、防衛費の大幅増は、年間で5.5兆円というそれこそ異次元なものです。その財源の確保は先送りされ、増税があるのか防衛費以外にしわ寄せが来るのか等、いまだに決まっています。

また、防衛費の増額により社会保障費は据え置かれています。様々な情勢が不安な今、老人も子どもも障がい者も、国民のすべてが異次元の保障を必要としているのに、対策は子どもだけ。「異次元の少子化」と言っているが、これは支持率回復のための目くらましで、子ども以外は置き去りにされていると言わざるを得ない」とおっしゃっていました。国防のために少子化対策をしているようで、太平洋戦争の「産めよ増やせよ」を連想させるものではないかとも。「子どもにだけ手厚い社会保障の分断とだましを見抜いて“どこか”だけでなく“どこも”という連携運動が必要なときではないだろうか」とお話を締めくくられました。

コロナ禍での久々の学習会となりました。少しずつ落ち着いているけど、やはりまだ集まることに不安なのか小規模な学習会となりました。講師の峰島先生も「集まりたい」と集まれた、この学習会が少し嬉しそうでした。

講演後、参加団体の現状を話す場を設けられました。コロナ禍でどの団体も大変な実情で、コロナ感染での様子や職員不足などの問題を話されました。

今回、参加した私には正直、難しい内容でした。ただ「集まれたらいいな!」と思う気持ちから参加させていただきました。

学習会後、同じ施設内の食堂で美味しいランチを食べる事ができました。

研修委員会 光安 佐登美 清水 二美

かしの木の会コーナー②

かしの木の会 総会

「令和5年度 書面表決による総会の実施」

令和5年初頭、政府より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類の見直しに関する日程等が発表され、5月8日より5類へと感染症法上での分類変更が行われました。

一般社会がコロナ禍以前へと生活を戻していく中、障害のある方々と接する機会が多い本会は、分類変更後の感染状況の予測は困難と思われる事から、令和5年度の総会についても書面による総会へと変更いたしました。

会員の皆様からご提出いただいた書面表決回答書の集計を実施いたしました。

その結果、数多くの賛成票を頂き、全ての議案において可決成立いたしました。

会員の皆様のご協力に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本会の運営委員会も、令和5年5月よりこれまで行っていたLINE会議から対面での会議へと変更し、運営委員会で提案された議題に対しじっくりと話し合う事が出来たように感じられました。

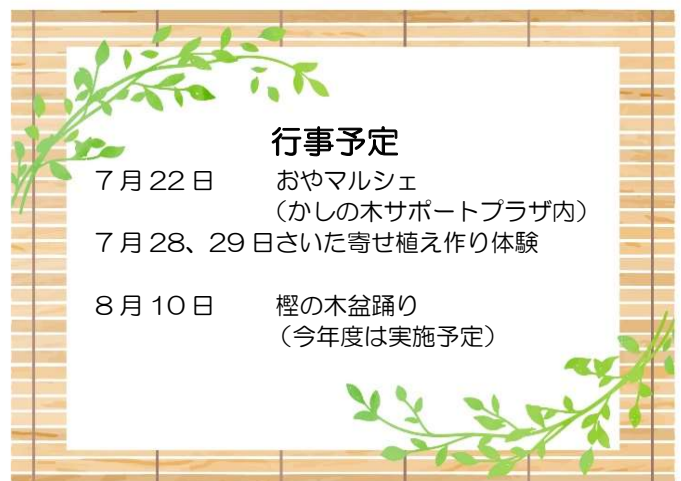
また、本会の各委員会も少しずつ活動再開へと歩み出しております。

その活動内容につきましては、広報誌等を通じて皆様にお知らせ出来ればと思っております。

今年度も本会は、感染状況を見極めた上で感染対策等を実施しながら、活動に精進して参ります。

今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜れますと幸いです。

かしの木の会会長 小杉 ひふみ



行事予定

7月22日	おやマルシェ (かしの木サポートプラザ内)
7月28、29日	さいた寄せ植え作り体験
8月10日	櫛の木盆踊り (今年度は実施予定)